

松本県ヶ丘高校創立百周年記念事業 同窓会実行委員会の経過報告

同窓会事務局長 高11回
常盤 欣司



松本県ヶ丘高校は
令和5年(2023年)に
創立100周年を
迎えます。



1. 記念式典・祝賀会
期日 令和5年9月30日(土)大安
会場 未定
日程等 今後詳細を検討
- 同窓会実行委員会の発足後、母校支援、地域社会への謝恩、同窓会の充実発展の3本柱を基本理念として、協議を重ねて参りました。
- 6小委員会における検討内容等について、その概要(中間報告)をお知らせします。

2. 記念事業
(1) 全体計画
 - 記念式典・祝賀会事業
映像「100年の歩み」、
新聞広告、テレビ放映
 - 教育環境整備事業
マイクロボス・ワゴン車・
教育備品の整備、教育活動
振興資金の創設(全国大会
出場補助、空調設備整備補
助)、育英資金の造成
 - 記念誌発行事業
100年誌、100年写真
集、県人物誌の発刊
 - 同窓会関連事業
会員録の発行、陵友館・同
窓会館の改築、一虹展、親
睦ゴルフ大会、会館の地域

- (2) 募金計画
 - 記念品・頒布品
記念グッズ(オルゴール・
県陵フレーム切手・ワイン
グラス・ボールペン等)、
ロゴマーク募集等
- 全体の事業内容、規模、資金計画が精査されており、秋までに確定し、「趣意書」の発送を予定しております。篤志寄付のため非課税措置も行います。
- なお、100周年記念事業の特別会計は、平成29年度より開始しており、100周年への寄付は随時受付けております。

母校縣陵祭に今年も展示 「松本県ヶ丘高校を応援する諸活動」!!

第73回縣陵祭が、6月27日(土)・28日(日)に一般公開されます。本年も校舎をお借りして、百周年への啓発を兼ねて、開催いたします。内容は、一虹展、親睦ゴルフ大会、OB会の活動、愛のリレー、支部の活動、県陵グッズの他、旧職員の作品展を予定しています。会員の皆様のお出掛けをお待ちしております。

(4月30日現在の予定です。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しての開催判断となります。)

分野	講師氏名(敬称略)	所属(2019年4月25日現在)
1 人文歴史	福澤 崇浩	新まつもと物語プロジェクト副会長
2 平和安全保障	丸山 文	NPO法人中信多文化共生ネットワーク
3 産業経済	松林 知史	TYLFマネジメント代表
4 地域社会	矢口 大輔 萩原 ななみ	長野県建設部河川課 係長 長野県総務部税務課
5 人権ジェンダー	山越 久美子	NPO法人ITサポート銀のかささぎ 理事長
6 教育スポーツ	馬島 誠	日本オラクル(株) 所属アシスト
7 自然科学	浅井 俊貴	(株)グラフィック 代表取締役
8 保健健康医療	大和 久也	キッセイ薬品工業(株) 人財開発 課長
9 テクノロジー	青山 陽子	(株)ユリーカ 代表取締役
10 テクノロジー	中林 玲	(有)イー・オフィス 代表取締役
11 テクノロジー	野村 雄二郎	セイコーエプソン(株) 要素設計部 課長
12 環境生命	浦出 陽子	東京都立大学 非常勤講師
13 環境生命	上條 佳郎	(株)エア・ウォーター 農園 課長

*1 探求的な学び
世の中の様々な現状を知り、その中から自ら課題を見つけ、それに対して情報収集・分析を行い、課題解決への提言をする学習活動

*2 SDGs
持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと」

事前情報があったとはいえず、受講する生徒からはなかなか理解が及ばない様子も聞かれましたが、複数の分野の知見に触れることで、その後の探求テーマを考えるよい契機になったのではないかと思います。

なおこの支援活動は今後も継続していく予定です。

【高37回 友測 大】



スタンディングデスクで
健康と集中力を手に入れよう
～日本人は世界一座りすぎている～
国際探究科 渡部日向子

探究科

です。

「探究科」活動報告



探究科主任
卯之原 智也

昨年度より開科した探究科も1・2学年4クラスとなり、活動も活発になってきました。そんな探究科の活動についてご報告いたします。

その前に2年間探究科に関わってきたとしても残念なのが、学科の名前が間違われることが多いという事です。「探求科」という表記が見られますが、本校は「探究科」です。物事を探し求める「探求」ではなく、物事の意義や本質を探って見極め解明する「探究」です。そのような活動になるよう様々な取り組みを行ってまいりました。

探究科の活動を大きく分けると、世の中を広く知り自らの見識を深めるフィールドワークと、それをもとに自らの興味関心から課題を設定し解決策を提案する探究学習の2つから成っています。

フィールドワークは普通科と一緒に2泊3日の東京研修と、マレーシア・シンガポール

とカナダの2コースから選ぶ海外研修の2つがあります。首都圏研修では、英語体験学習やSDGsの活動に取り組みしている企業訪問などを行いました。海外研修では自分たちで行った。海外研修では自分たちで行った。海外研修では自分たちで行った。海外研修では自分たちで行った。

探究学習は普通科と同じ内容で、1年次は「信州学」として地元をテーマにグループで、2年次は各自の興味関心からSDGsに関連付けて個人で課題探究に取り組みました。2月1日には2年生312名が各自の探究内容をスライドにまとめ、発表会を行いました。同窓会や地元企業にもご協力いただき、県内では唯一のコンテスト形式で行い、優秀発表者には表彰と景品が授与されました。

このような活動を通じて、SDGsの社会でも自らが主体となって活動できる力が身につくと考えています。

真実を見極め解明していける生徒が育つように取り組んでまいりますので、今後も引き続きご支援よろしくお願いいたします。

縣陵の学びを支援する会 活動報告

学びを支援する会報告 ～平成31年度進路講座～

「縣陵の学びを支援する会」は一昨年に引き続き、昨年4月25日に開催された新入生向け進路講座の講師の人選や当日の運営等について支援を行いました。

一昨年は、各方面の第一線で活躍している卒業生を講師として招き、それぞれの職務の専門性や経歴等および、新入生が進路を考える際の助言等を行っていただきました。

昨年は、「新入生が探究的な学び(*)を取り組むにあたって、その対象としてどのような分野(職業・課題研究)があるのかをイメージさせる場としたい」との学校の意向を受け、テクノロジー等10の分野の企業、団体に対し、卒業生の別なく講師を依頼しました。

講師の方からは、事前に「自身の事業や職務(専門性)が社会のどのようなテーマに貢献しているか(SDGs等*)」の要旨をご提供いただき、これをもとに各生徒は興味のある講義を2つ選択したうえで、当日それぞれを約1時間受講しました。